

# 戦前期甲府における卸売・小売物価指数の推計

—1873-1938年—

加藤 要 一

はじめに

本稿は、戦前期の山梨県の経済史を分析する基礎的作業として、戦前期甲府における卸売物価指数と小売物価指数を推計することが目的である。従来、戦前期の物価指数の推計は、東京や大阪を中心とするものが多かった。例えば、大川 [1967]<sup>1)</sup>、有田・中村 [1992] が東京の物価指数を、尾高 [1972]、斎藤 [1975] が大阪の物価指数を推計している。これは、この両地域が長期にわたって政治・経済の中心として栄え、物価資料が多く残存していることによるものと考えられる。

しかしながら、こと戦前期を扱う場合には、この両地域以外の地方の物価動向にも注目する必要がある。その理由は、時代を遡れば遡るほど、物価の地域間格差が大きかったと考えられるからである。物価の地域間格差を生じさせる要因としては、地域内の生産物の需給関係、賃金・地代・利子などの生産要素価格、技術水準、貨幣量、商業マージンや輸送費用の占めるウエイトの相違などが考えられる。各地域の経済圏の独立性が高いほど、これらに大きな相違を生じさせるであろう。

徳川期の日本は、幕藩制の下、各藩が独立した経済単位となっていて、物価の地域間格差が大きかった。それが、明治期になると藩の障壁が取り除かれ、海運・道路・鉄道などの交通機関や、電信・電話などの通信網が整備されるにつれ、次第に地域間の経済構造の相違が平準化し、輸送費用も低下して、物価の地域間格差が縮小し、やがては全国的な統一市場が形成されるに

至ったと考えられる。

こうした過程を分析する上では、地方の物価動向にも注目することは必要不可欠であろう。この意味で、四国の松山という一地方都市の戦前期の物価動向を扱った、岩橋 [1992] は意義深い。しかし、この岩橋 [1992] では、総合物価指数を算出する際の、各品目のウエイトは、大川 [1967] を参考にして、米に 30%、ほかの 33 品目の単純平均値に 70% とし、これを全期間にわたって固定して与える手法を採っている。この手法は、ウエイト作成に必要な原資料の乏しい徳川時代の物価指数の場合では、致仕方がないが、明治以降であれば、『府県統計書』には生産統計があり、また各種『商業統計』があって、まだ採りうる方法はある。特に地域ごとの経済構造の違いが大きい戦前期では、その違いを反映した総合物価指数を作成すべきであろう。

本稿では上記のような問題意識で、山梨県甲府市の卸売・小売の両物価指数の推計を試みた。甲府の物価指数については、すでに Tussing [1966] が推計を試みているが、期間が 1880-1911 と短く、採用品目も 12 品目と少ないことから<sup>2)</sup>、本稿ではこれを大幅に改善したい。本来なら、相対価格の分析、全国レベルの価格との比較など、詳細な分析まで踏み込む必要があるが、紙幅の関係でこれらは別稿に譲り、本稿では第一着手として、まず卸売・小売物価指数の推計過程に絞って説明し、最後に推計結果を掲出する。

## 1 甲府の物価資料の検討

本稿において甲府の物価データとして利用した物価資料について、出典、調査主体、資料間の関連について検討する。

### I 国立公文書館・内閣文庫所蔵の『各地物価表』

- ① 『従明治六年十月 至同七年九月 各地物価表』
- ② 『明治七年十月 至十二月 各地物価表』
- ③ 『各地物価表 明治八年 自一月 至九月』
- ④ 『明治八九年 物価表』(明治 9 年 1 月, 明治 8 年 10 月, 11 月, 12 月分記載)

⑤『明治九年 物価表』(明治9年2月, 4月, 8月分記載)

これらの資料は, それぞれ別々の冊子になっているが, 明治6年10月から明治9年8月まで時期的にはほぼ連続していて, 記載のフォーマットをみても, 調査地域が東京, 大阪, 西京(京都)の各都市と甲斐国などの旧国ごと, 調査間隔は各月, 調査品目は多少の変更はあるもののほぼ, 米, 麦, 清酒, 大豆, 塩, 水油, 醤油, 濁酒, 焼酎, 味噌, 石炭, 銘酒, 白酒で統一されていることから, 一連のものと考えられる. この物価調査は大蔵省から出された一連の達<sup>3)</sup>に基づくものである. このことは, 上記資料①の表紙に「大蔵省達書ニ相添」とあることと符合している. よって調査主体は大蔵省である<sup>4)</sup>. 資料からは卸売段階価格か小売段階価格かは判明しないが, 卸売段階価格である可能性が高い.

本稿では, 上記資料の甲斐国のデータを採用した. 採用品目は後の資料とのリンクを考えて, 米, 麦, 清酒, 大豆, 塩, 水油, 醤油である.

## II 『帝国統計年鑑』

第6回『帝国統計年鑑』の第81表～第84表に, 「府県及北海道米相場」のほか, 麦, 大豆, 酒の相場が掲載されている. データは各道府県ごとに, 明治8年から19年まで, 単年ごとの数値が掲載されている. 19年価格が後述の『農商務統計表』の数値と一致していることから, 卸売段階価格と思われる. 本稿では, この山梨県のデータを採用した.

## III 『農商務統計表』

第2次『農商務統計表』から以降, 「都邑物価」が掲載される. データは都市ごとで, 甲府のデータは明治19年から33年まで掲載され, 34年以降は調査地が変更されて甲府は掲載されなくなる. 明治19年から26年までが単年ごと, 27年から31年までが3, 6, 9, 12月の数値, 32年が7月～12月の各月の数値, 33年が1月～12月の各月の数値が掲載されている. 品目は一連の「農商務通信規則」に準拠したものである<sup>5)</sup>. この各月の数値については, 「米ハ上中下三等ニ區別シ其他ハ都テ中等即チ並品ノ卸相場ニ抛リ毎月十日間ニ一日即チ一ヶ月ニ三度(例ヘハ五ノ日若クハ六ノ日ヲ以テスル

カ如シ)ノ相場ヲ平均シ<sup>6)</sup>(下線筆者、以下同じ)」とあり、卸売段階価格であることが判明する。

#### IV 『勸業年報』

山梨県の勸業年報は現在発見されている分が、明治12年『山梨県勸業年報』、17年『山梨県勸業統計書』、18年～20年の3年間の合本『山梨県勸業統計書』、35年、36年、37年、38年の各『山梨県勸業年報』の合計8冊分である<sup>7)</sup>。このうち物価表を掲載しているものが、18年～20年の3年間の合本、35年、36年、37年、38年の5冊である。18年～20年の3年間の合本には19年と20年の、35年、36年、37年、38年には各年の甲府の物価表が掲載されている。各年とも1月～12月までの各月の数値が掲載されている。品目は前述の「農商務通信規則」に準拠したもので、『農商務統計表』と『勸業年報』の物価表は同じソースから採った同系列のものである。よって数値は卸売段階価格である。これら「農商務通信規則」に拠った物価系列を、本稿では「農商務系列」と呼ぶことにする。

#### V 『県統計書』掲載の物価表

『山梨県統計書』には、甲府市に関して次の①～⑤の系列の異なった物価表が掲載されている。

##### ①「重ナル物品ノ相場」

品目：生糸、繭、洋線綿、和線綿 期間：明治17年～36年

これには最高値、最低値と平均値が記載してあるが、この平均値は最高値と最低値の中位値である。「府県統計書様式」によれば、「其市街ニ於テ最も多ク売買ヲ為スモノヲ掲クヘシ」とあるが、卸売段階価格か、小売段階価格かは不明である。しかし、上記の品目はいずれも、小売段階には出回りにくいものなので、卸売段階価格と思われる。

##### ②「日用品平均相場」

品目：精米、大麦、酒、醤油、味噌、塩、種油、薪、炭

期間：明治13年～36年

「府県統計書様式」によると、これらの品目のうち、酒と種油以外の数値は

「徴発物件一覧表中ヨリ事実ヲ採集」したものである<sup>8)</sup>。(この「日用品平均相場」系列を本稿では、「徴発系列」と呼ぶ。)この「徴発物件一覧表」の「物価表」データについては、梅村ほか[1983]によれば、卸売段階の価格であると推定されている<sup>9)</sup>。

③「物価(甲府市)」

期間：明治37年～大正14年 数値：3,6,9,12月の平均

品目が「農商務通信規則」と一致しているので、この表は農商務系列のデータと推定できる。数値は卸売段階価格であろう。

④「物価(甲府市)」

期間：大正13年～昭和7年

品目数は、③に比べると極端に減少する。品目と数値から、これは「甲府商業会議所統計」からの一部抜粋と推定される。

⑤「物価(甲府市)」

期間：昭和8年～13年 数値：3,6,9,12月の平均

品目数は、④に比べれば格段に増加する。

物価表欄外に「甲府商業会議所調査」との記載があり、一部抜粋をとりやめ、全部掲載するようになったようである。上記資料④⑤と後述のVIのような、商工会議所調査をソースとするものを本稿では、「商業会議所系列」と呼ぶ。④⑤ともに卸売段階価格である。

VI 『甲府商業会議所統計』(東京商工会議所図書館所蔵)

大正4年～9年は小売価格が、大正11年～昭和7年は卸売価格が記載されている。小売価格は掲載される期間が短いため、採用しなかった。数値は、1月～12月各月平均だが、県統計書とのリンクのため、3,6,9,12月平均に計算し直した。

VII 『県統計書』の生産統計

上記I～VIの、物価そのものの調査の他にも、生産統計から物価を推定できる。『山梨県統計書』には、明治後期から「生産価額(=生産総額)」が記載され始める。山梨県全体の生産価額を生産量で除した値、つまり1単位あ

たりの価格を、代理数値として採用した。この生産価額の算出方法について農商務省は、全般的の注意として「価額計算方ニ就キ特ニ其法ヲ記載セサルモノハ一般卸売相場（問屋ヨリ小売商人へ渡渡ス直段）ヲ以テ計算スヘシ」と指示して、個別の品目、例えば木材・薪炭の価額については「価額ハ凡テ山元相場ヲ以テ計算スヘシ」と指示している<sup>10)</sup>。だが後年、前者の全般的の注意のほうは、「其ノ地方市場相場ヲ平均シタルモノヲ以テ計算スヘシ<sup>11)</sup>」となり、卸売価格が小売価格かを断らなくなる。しかし恐らく、先年来の卸売価格による方法が踏襲されたと思われる。

上記の資料から得られたデータは、事実上すべてが卸売段階価格である。小売物価指数を推計するには、本来なら小売段階価格が得たいところだが、史的に不可能であるので、卸売価格と小売価格の動きが平行であると仮定して、卸売価格を小売価格の代用として用いた。トレンドを見るための指数として使用する場合は、この方法でも問題は少ないであろう。

本稿で扱う全期間にわたって、同一の資料から一本の連続した価格系列を得ることは不可能である。いくつかの資料を組み合わせることで価格系列を作成せざるを得ない。この価格系列のリンクは、表計算ソフトのワークシート上でおこなった。その方法の代表的なものを挙げれば、二つの価格系列をリンクする場合は、重なっている期間の比率を計算し、その比率をどちらかの系列に乗じてリンクする方法、価格データが一期間欠落する品目は、価格変動の相関係数が高い品目で推定する方法などである。このワークシートは、紙幅の制限のため掲出しなかったが、今後の課題としての品目別の分析に資することにした。リンクの結果、データがなるべく長期にわたって得られるものを採用した。採用した品目数は、表1に掲げた。

## 2 ウェイトの作成

物価指数の推計方法には、代表的なものにラスパイレズ式とパーシェ式とがある<sup>12)</sup>。この両式を比較すると、ラスパイレズ式は、一旦ウェイトを決めてしまえば、あとは比較時点では価格だけを調査すればすむのに対し、パー

表1 期間別採用品数とウエイト作成資料

期 間		I				II			III			
		1873~1901				1899~1924			1922~1938			
ウエイト年次		1900				1918			1939			
		1873~ 1881	1880~ 1887	1886~ 1895	1894~ 1901	1899~ 1907	1905~ 1913	1911~ 1924	1922~ 1932	1930~ 1938		
卸	農産物	農産品	3	3	10	11	13	45	58	60	63	
		繭			1	1	1	1	1	1	1	
		畜産品				1	3	3	3	5	5	
	林産物	材木類			4	4	12	12	12	5	8	
		薪 炭		2	2	2	2	2	2	2	2	
	水産物									3	4	
	売	工産物	食料品	3	4	9	9	9	9	7	10	11
			被服・繊維品			11	11	10	9	9	13	21
			身の廻りの品								3	4
			燃 料	1	1	2	2	2	3	3	4	7
肥 料					2	3	3	3	3	5	6	
紙 類					2	2	2	2	2	1	5	
金属類					2	2	3	3	2	4	8	
建築材料										3	3	
化 学								5	13			
合 計		7	10	45	48	60	92	102	124	161		
小	農産物	農産品	3	3	10	11	9	38	51	53	56	
		繭										
		畜産品				1	3	3	3	5	5	
	林産物	材木類			4	4	12	12	12	5	8	
		薪 炭		2	2	2	2	2	2	2	2	
	水産物									3	4	
	売	工産物	食料品	3	4	9	9	9	9	7	10	11
			被服・繊維品			10	10	9	8	8	12	20
			身の廻りの品								3	4
			燃 料	1	1	2	2	2	3	3	4	7
肥 料					2	3	3	3	3	5	6	
紙 類					2	2	2	2	2	1	5	
金属類					2	2	3	2	2	4	8	
建築材料										3	3	
化 学								5	13			
合 計		7	10	43	46	54	82	93	115	152		
ウエイト作成資料		明治33年『山梨県統計書』, 明治35年『勤業年報』、『県 下各街道ヨリ輸入物額』				大正7年『山梨県統計 書』,大正7年『主要貨 物府県別発着数量表』			昭和14年『臨時 国勢調査結果表』, 昭和14年『商業統 計表』,昭和13年 『山梨県統計書』			

シェ式では比較時点ごとに価格と数量を調査しなくてはならない。明治初年から昭和戦前期までを扱う本稿において、明治初年から毎年、数量を得るのは、資料と労力の制約から困難なので、パーシェ式を採用するのは不可能であろう。また、ラスパイレス式にしても明治初年から昭和戦前期までの長期にわたり、1年次のウェイトを固定して用いるのも適切ではない。そこで、本稿では1873年から1938年までを3期に分割し、各期間ごとにウェイトを作成してラスパイレス式の指数を求め、それらをリンクして全期間にわたる卸売・小売の両物価指数を推計した。ただし、採用品目の出入のために、各期間の中をさらにいくつかの小期間に分割し、適宜ウェイトの配分・統合の操作をおこなった。

次に各期のウェイト作成の資料の特徴と、その方法について、説明したい。  
[卸売ウェイトの作成] I期・II期の卸売ウェイトの作成は、県内で生産される品目の生産価額に、県外から移入される品目の移入価額を、足し合わせる方式を採った。すなわち、①生産統計から生産価額のみが得られる場合はその生産価額を、②県外からの移入価額のみが得られる場合<sup>13)</sup>はその額を、③生産価額と移入価額の両方が得られる得られる場合<sup>14)</sup>はその合計額を、それぞれ卸売推定額と見なして卸売ウェイトを作った。

まず、第I期は鉄道開通前の状態をあらわすものである。鉄道は中央線が明治36年に甲府まで達した。鉄道開通前の状態のウェイトなら、開通寸前の明治33年よりも、明治初期から中期にかけての年次をウェイト作成の年次に選ぶほうが、より望ましいかもしれない。『山梨県勸業年報』や『山梨県統計書』から生産価額が得られるからである。しかし、山梨県にとって重要なウェイトを占める林産物（木材・薪炭）の生産価額が、掲載され始めるのが、明治32年の県統計書からである。これは、明治32年の農商務統計様式の改正<sup>15)</sup>によるものである。改正初年の32年ではなく33年の数値を採ったのは、2年目のほうが数値がより確かなものになっていると考えたからである。生産価額は、そのほとんどが明治33年『山梨県統計書』の生産統計から、これで得られない醤油・酒の生産量は明治35年『勸業年報』の明治



34年データから採った。県外からの移入価額は、明治33年『山梨県統計書』所収の「河岸場の輸入物品」表と、『県下各街道ヨリ輸入惣額』表から採った。このうち前者の「河岸場の輸入物品」表は、富士川舟運の終点である鰍沢河岸で捉えた移入量である。塩・砂糖・石油・干鰯など県内では生産されない物品は、そのほとんどが富士川舟運によって移入された。この表から直接、33年の移入価額が得られる。後者の『県下各街道ヨリ輸入惣額』表は、小野田元熙山梨県知事が中央線開通前に、鉄道開通による経済効果を力説した意見書<sup>16)</sup>に付表として付けられたもので、県外から各街道を通して移入される品目の移入量、鉄道開通前の現在の輸送費用額、開通後の予想輸送費用額、その運賃低下差額が掲出されている。この移入量データは、「輸送業者ノ簿冊ニ登載セラレタルモノ」で、恐らくこの意見書が書かれた前年の明治30年の数値と思われる。鰍沢河岸で陸揚げされた物品は駿州街道上を運ばれたから、富士川舟運による移入物もこの表の移入量に含まれていると思われる。この移入量に33年の価格を乗じて移入価額を算出した。そして各品目ごとに、二つの移入価額データ（「河岸場の輸入物品」表・『県下各街道ヨリ輸入惣額』表）の比較をして、大きい数値のほうを採用した。

次の第II期は、鉄道開通直後の状態であり、大正7年『山梨県統計書』の生産統計と、『主要貨物府県別発着数量表』（大正7年度、鉄道省運輸局）の山梨県着の貨物数量から卸売段階の価額を推定し、ウェイトを作った。大正7年を選んだ理由は、全国規模の府県ごとの鉄道輸送量データである『主要貨物府県別発着数量表』が存在するからである。管見のかぎりでは大正7年がこの種類の数量表が存在する最初の年であろう。この『主要貨物府県別発着数量表』は、鉄道貨物の発着量が府県ごとに地域間取引行列になっており、品目ごとに、山梨県への発送元の県とその量、山梨県からの発送先の県とその量がわかる。本稿では品目ごとに山梨県への到着量を価額に変換し、生産統計の価額と合計して、卸売段階の価額とした。

そして最後の、第III期は戦間期であり、昭和14年『臨時国勢調査結果表』<sup>17)</sup>の山梨県の部と昭和14年『商業統計表』の山梨県の部と、昭和13年

『山梨県統計書』の生産統計から、卸売段階価額と、小売段階価額を推定し、ウエイトを作った。その『臨時国勢調査結果表』第一巻には、米穀販売、雑穀販売などの営業の種類ごとに、小売店・百貨店・生産小売商・卸小売商・露天行商・卸売商・貿易商・産業組合・消費者団体の共同購買・其の他の共同購買及共同販売・物品販売の仲介の11種の営業の形態ごとの売上額が、第六巻には指定物品ごとに小売額、卸売額、仲介取扱額が記載してある。この臨時国勢調査は、本稿で求めようとしている小売価額、卸売価額が比較的直接的に得られる貴重なものなので、これを中心に据えて、『商業統計表』と『山梨県統計書』とで補って、品目毎に卸売価額と小売価額を推定した。

[小売ウエイトへの変換] 小売ウエイトが実際的小売価額から推定できるのは第III期だけである。他の二期は、小売価額データが存在しないことから、直接、小売価額から小売ウエイトを作成することができない。そこでこの第III期の生産価額あるいは卸売価額と、小売価額との比率（この比率を小売係数と呼ぶことにする）を計算し、この比率を他の二期の生産価額・卸売価額に乗じて小売価額を推定し小売ウエイトを作成する方法をとった。だが、この方法では、生産価額・卸売価額と小売価額との比率が、明治初期から一貫して変化していないことを前提としていることになる。その妥当性を確認する手段が現在のところないし、何よりも小売価額を直接得られないことから、現段階ではこの方法しかない。したがって、この方法で作成された小売物価指数は、卸売物価指数に比べて精度が落ちることを認識した上で、分析に使う必要がある。

こうして得た品目毎の卸売・小売ウエイトを、本稿末の付表1に掲げた。

表2は、グループ別のウエイトである。工産物総合のウエイトに着目すると、卸売・小売ウエイトともに、II期からIII期にかけて10ポイントほど大きくなっている。これは実態以上に、ウエイト作成の元になった資料が『山梨県統計書』の生産統計のほか、『商業統計表』と『臨時国勢調査』を使ったことによって、工産物のウエイトのカバリッジがそれ以前の期に比較して格段に向上したことによる。また、工産物総合の小売ウエイトが、I期

表2 グループ別ウエイト表

(単位は%)

期		卸売ウエイト						小売ウエイト					
		I				II	III	I				II	III
		1873~ 1881	1880~ 1887	1886~ 1895	1894~ 1901	1899~ 1924	1922~ 1938	1873~ 1881	1880~ 1887	1886~ 1895	1894~ 1901	1899~ 1924	1922~ 1938
農産物	農産品	53.96	53.21	38.44	38.09	36.50	24.58	50.68	45.07	45.07	44.18	50.63	26.40
	繭			14.77	14.64	15.48	12.16						
	畜産品				0.48	0.63	0.67				0.89	1.06	2.28
	農産物総合	53.96	53.21	53.21	53.21	52.61	37.41	50.68	45.07	45.07	45.07	51.70	28.68
林産物	材木類			0.45	0.45	1.33	3.06			0.20	0.55	0.96	
	薪炭		1.39	0.94	0.94	2.00	3.40		9.57	9.37	9.37	7.99	7.58
	林産物総合		1.39	1.39	1.39	3.33	6.46		9.57	9.57	9.57	8.55	8.54
水産物							2.25						3.38
工産物	食料品	40.26	39.70	7.00	7.00	7.52	8.51	41.93	38.56	17.82	17.82	17.18	26.52
	被服・繊維品			0.36	0.36	0.31	36.35			21.49	21.49	11.60	16.40
	身の回りの品						2.15						6.68
	燃料	5.78	5.70	1.00	1.00	1.41	1.00	7.39	6.80	3.14	3.14	4.16	2.18
	肥料			0.92	0.92	1.88	2.25			1.47	1.47	2.82	2.94
	紙類			0.47	0.47	1.64	1.80			0.89	0.89	2.92	2.79
	金属類			0.34	0.34	0.71	0.83			0.55	0.55	1.08	1.09
	建築材料						0.28						0.12
	化学						0.71						0.66
	工産物総合	46.04	45.40	45.40	45.40	44.06	53.88	49.32	45.36	45.36	45.36	39.76	59.40

注) 斜体はグループ内の合計値。

からII期にかけて6ポイントほど低くなっているが、これは生産価額・卸売価額に機械的に小売係数を乗じて小売ウエイトを作成したことによると思われる。これらは、いずれも今後改善をはかる必要がある。

### 3 作成された卸売・小売物価指数の性質

卸売物価指数については、県内の生産統計のほかに、県外からの移入統計を加味したことにより、卸売ウエイトとしてはより現実的になったであろう。それでも、生産統計の割合が大きいことから、流通段階で言えば卸売段階より、むしろ生産段階を反映している。すなわち、卸売物価指数には、山梨県の生産面に大きなウエイトを占める、繭、桑、生糸など蚕糸業関係や、甲斐絹に代表される絹織物関係のウエイトがそのまま反映しているのである。卸売物価指数というより、山梨県の現実の生産面物価指数と言うべきかもしれない。山梨県の県経済の趨勢を分析するには、このほうがむしろ好都合であ

ろう。

小売物価指数については、家賃、電気料金、輸送運賃、通信料金を除外した消費者物価指数に近いものであろう。この点は、後に消費者物価指数との比較で確認できる。

#### 4 推計結果と他推計との比較

算出された卸売・小売それぞれのグループ別の指数と総合指数を、付表2、付表3に掲げた。また、比較のために甲府の本推計と他地点の推計とをグラフ化したものを図1と図2に掲げた。図1に、本稿で推計した甲府の卸売物価指数、有田・中村 [1992] が推計した東京卸売物価指数、Tussing [1966] が推計した甲府の物価指数<sup>18)</sup>、岩橋 [1992] が推計した松山の物価指数<sup>19)</sup>を掲げた。また、図2に、本稿で推計した甲府の小売物価指数と、大川 [1967] における家賃を除いた消費者物価指数（都市消費者物価指数と・農村のその加重平均）、尾高 [1972] が推計した大阪の消費者物価指数を掲げた。他推計とは品目数やウェイトのかけ方が、本推計とは異なっているので、強い結論を導き出すとはできないが、これらを比較して、観察される点を二、三指摘しておこう。

まず、鉄道の開通による運賃低下の影響は、期待したほど指数には反映していない。山梨県に中央線が開通したのは、1901年から1903年にかけてであるが、甲府の卸売・小売指数はこの時期に大きな変化は示していない。この原因は二つ考えられる。一つは、運賃低下による、県外からの移入物の価格の低下と、県外への移出物の価格の上昇とが相殺し合った結果であるということ<sup>20)</sup>、もう一つは、1906年以降頻繁に山梨県を襲った大規模水害による物価の上昇が、運賃低下による効果を減殺したということである。いずれにせよ、今後、品目ごとの詳細な分析が必要であろう。

次に、第一次大戦による好景気の時期の物価上昇が、卸売・小売とも、甲府においては他地点より大きい。またその後しばらくは低下せず、他地点より物価が高い状態がしばらく続いた。

図1 卸売物価指数

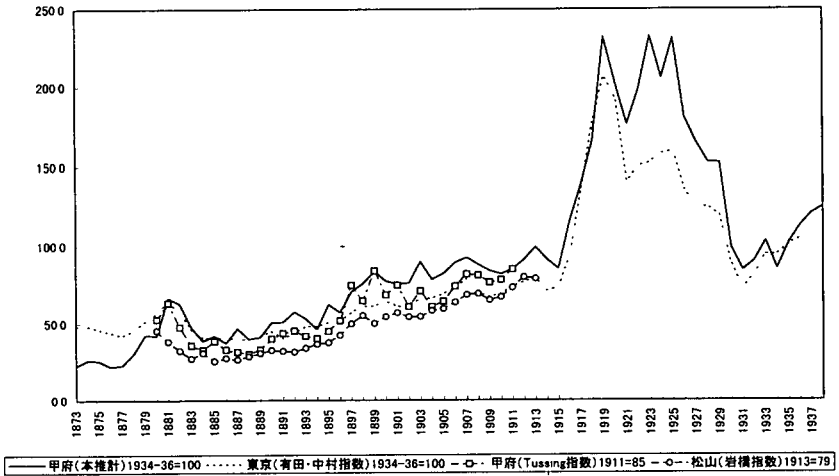
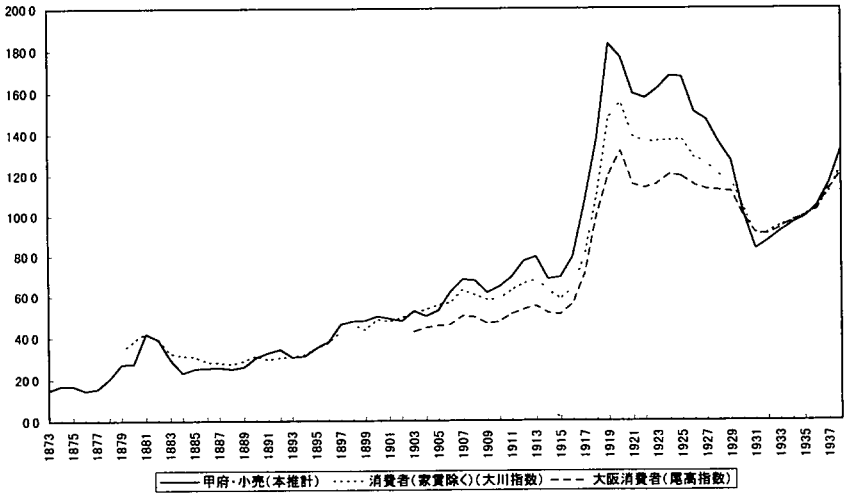


図2 小売・消費者物価指数 1934-36=100



全体としてみれば、不連続な部分や異常値と思われる点はなく、本推計はおおむね妥当なものであることが確認できた。

- 1) 都市・農村の消費者物価指数を推計しているが、もとになった物価資料はほとんどが東京のものである。
- 2) Tussing は、消費者物価と銘打っているが、実際使っているデータは、卸売段階価格である。品目は、甲府の精米、麦、酒、醤油、味噌、塩、種油、薪、炭（以上、1880-1911）、猿橋の甲斐絹（1880-1903）、甲府の花色絹（1903-11）、東京の綿布（1892-1911）である。ウェイトは、外国との輸出入量を加味しつつ、1903-07の全国生産量を使っている。詳細は、Tussing [1966] p. 91の注を参照。
- 3) 「大蔵省第139号（明治6年10月5日）」・「租税寮第31号（明治6年11月15日）」（農林大臣官房統計課 [1932] p. 39～33）。
- 4) 細谷 [1976] p. 32によると、物価調査などの基礎的情報収集作業はほとんど大蔵省が開始したという。
- 5) 松田 [1980] p. 127の「物品名一覧表」を参照。
- 6) 「農商務通信手続及通信事項（明治19年兵庫県達乙第137号）」（農林大臣官房統計課 [1932] p. 215）。
- 7) 松田 [1980] p. 41～42 図3を参照。
- 8) 松田 [1980] p. 125。
- 9) 梅村ほか [1983] p. 22。
- 10) 「農商務省訓令第11号（明治37年）」（農林大臣官房統計課 [1932] p. 446, p. 509）。
- 11) 「農商務省訓令第13号（大正3年）」（農林大臣官房統計課 [1932] p. 580）。
- 12) ラスパイレス式とパーシェ式に関する説明は、中村ほか [1983] 第V章、森田 [1970] 第4章を参照のこと。
- 13) 食塩、砂糖、藍玉、石油、石炭、干鰯、鯀搾粕、熟鉄、鋼がこれに当たる。
- 14) 米、大麦、大豆、繰綿、茶、醤油、和酒、綿布、紙、甘藷がこれに当たる。
- 15) 「農商務省訓令第34号（明治32年）」（農林大臣官房統計課 [1932] p. 392以下）。
- 16) 小野田元熙『中央鉄道敷設に付意見書』明治31年（山梨県立図書館蔵）。
- 17) この昭和14年『臨時国勢調査結果表』は、戦時体制に向けての「物の国勢調査」と言われるものである。詳細は松田 [1978] p. 106～107を参照のこと。

付表1 品目

	卸 売 ウ エ イ ト							
	I				II			III
	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32
農産物—農産品								
米	2823.01	2783.70	1428.75	1415.81	1768.06	1635.78	1635.78	862.23
大麦	2160.95	2130.86	626.55	618.50	321.11	297.09	297.09	612.02
小麦			467.12	461.12	161.38	149.31	149.31	165.86
裸麦				4.15	7.01	6.49	6.49	1.35
蕎麦								1.35
大豆	412.35	406.61	208.69	206.80	142.25	113.42	113.42	21.28
小豆						10.33	10.33	5.41
豌豆(えんどう)						2.81	2.81	1.46
蚕豆(そらまめ)						3.36	3.36	2.74
落花生						1.68	1.68	0.10
菜豆(インゲン豆)								4.54
粟						21.94	21.94	4.53
稗						4.71	4.71	0.50
黍						2.40	2.40	3.05
玉しよく黍						37.53	37.53	17.91
蕎麦						12.70	12.70	4.77
梅						3.33	3.16	4.56
甘藷						78.74	74.71	22.84
馬鈴薯						23.71	22.49	31.33
胡瓜(キュウリ)							6.64	10.30
越瓜(シロウリ)							2.01	3.91
南瓜(カボチャ)						6.35	6.02	6.48
茄(ナス)						13.80	13.09	16.45
蕃茄(トマト)							0.06	3.89
花百合(ハナユリ)							0.31	1.32
蘿蔔(大根)						27.63	26.22	22.13
蕪菁(カブラ)						0.87	0.83	0.40
胡蘿蔔(ニンジン)						8.51	8.08	8.09
牛蒡(ゴボウ)						13.01	12.35	11.97
里芋								20.15
蓮根						2.08	1.98	1.42
葱						9.11	8.65	7.73
葱頭(タマネギ)						0.26	0.25	2.12
甘藍(キャベージ)							0.58	4.87
西瓜(スイカ)							0.06	2.02
舌甘瓜(マクワウリ)							0.27	0.06
桃						6.49	5.53	2.38
桜桃							0.21	13.57
梨(日本種)							3.62	3.09
梨(西洋種)						0.19	0.16	0.14
柿(生柿)							8.29	18.93
林檎						0.43	0.37	0.50
枇杷						0.03	0.03	0.04
密柑							0.47	0.06
ネーブルオレンジ							0.033	0.001
夏橙(ナツミカン)							0.03	0.01
葡萄			7.38	7.31	68.36	46.54	39.65	68.44
栗(生栗)						5.95	5.07	2.00
栗(搦栗)								0.37
柿(干柿)							4.82	9.27

別ウエイト

1930-38	小 売 ウ エ イ ト								
	I				II			III	
	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32	1930-38
862.23	4146.61	3687.27	3389.17	3322.42	4328.89	3807.91	3807.91	1889.80	1889.80
162.02	399.44	355.19	187.03	182.65	98.94	87.03	87.03	44.69	44.69
165.86			139.44	136.17	49.72	43.74	43.74	45.75	45.75
1.35				1.23	2.16	1.90	1.90	0.37	0.37
1.35								0.37	0.37
21.28	522.21	464.36	426.82	418.41	300.28	227.65	227.65	40.22	40.22
5.41						20.74	20.74	10.23	10.23
1.46						5.64	5.64	2.77	2.77
2.74						6.74	6.74	5.18	5.18
0.10						3.36	3.36	0.18	0.18
4.54								8.58	8.58
4.53						132.19	132.19	25.71	25.71
0.50						28.37	28.37	2.85	2.85
3.05						14.46	14.46	17.28	17.28
17.91						226.09	226.09	101.56	101.56
4.77						76.51	76.51	27.08	27.08
4.56						2.25	2.13	2.89	2.89
22.84						53.09	50.37	14.50	14.50
31.33						15.98	15.17	19.89	19.89
10.30							4.47	6.54	6.54
3.91							1.35	2.48	2.48
6.48						4.28	4.06	4.11	4.11
16.45						9.30	8.83	10.44	10.44
3.89							0.04	2.47	2.47
1.32							0.21	0.84	0.84
22.13						18.63	17.68	14.05	14.05
0.40						0.59	0.56	0.25	0.25
8.09						5.74	5.45	5.14	5.14
11.97						8.77	8.32	7.60	7.60
20.15								12.79	12.79
1.42						1.40	1.33	0.90	0.90
7.73						6.14	5.83	4.91	4.91
2.12						0.17	0.17	1.35	1.35
4.87							0.39	3.09	3.09
2.02							0.08	2.49	2.49
0.06							0.35	0.08	0.08
2.38						8.49	7.23	2.93	2.93
13.57							0.27	16.73	16.73
1.08						4.74	4.04	1.33	1.33
0.14						0.25	0.21	0.17	0.17
18.93							10.85	23.33	23.33
0.50						0.57	0.48	0.61	0.61
0.04						0.04	0.03	0.04	0.04
0.06							0.61	0.07	0.07
0.001							0.043	0.001	0.001
0.01							0.04	0.01	0.01
68.44			9.84	9.65	94.11	60.91	51.90	84.34	84.34
2.37						7.78	6.63	2.47	2.92
								0.46	
9.45							4.07	7.36	7.50



付表1 品目別ウ

	卸・売 ウ エ イ ト							
	I				II			III
	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32
甘藷切干								0.45
切干大根								0.02
蒟蒻芋						6.42	1.59	16.02
漬菜						5.22	5.22	11.15
沢庵					8.47	5.22	5.22	11.15
梅干					8.47	5.22	5.22	
緑茶			6.93	6.87	2.48	2.29	2.29	1.66
綿綿			77.63	76.93	3.41	1.58	1.58	
実綿						1.58	1.58	0.52
楮						0.78	0.78	0.96
三極						5.90	5.90	5.15
菜種						1.83	1.83	5.23
胡麻								0.73
藺						0.27	0.27	0.03
葉煙草			36.43	36.10	4.75			
刻煙草			36.43	36.10	4.75			
桑			947.98	939.40	1149.86	1063.83	1063.83	846.85
農産物一蘭								
蘭			1477.26	1463.89	1548.18	1548.18	1548.18	1216.39
農産物一畜産品								
牛肉				48.19	28.31	28.31	28.31	2.65
豚肉								11.87
鶏肉								12.38
牛乳					10.19	10.19	10.19	23.00
鶏卵					24.22	24.22	24.22	16.98
林産物一材木類								
ベニア板								
枕木					17.28	17.28	17.28	
杉尺ノ二間			8.90	8.90	7.71	7.71	7.71	70.50
杉六分板					7.71	7.71	7.71	70.50
杉丸太					7.71	7.71	7.71	
杉四分板			8.90	8.90	7.71	7.71	7.71	
米杉板								
松尺ノ二間			13.49	13.49	15.87	15.87	15.87	81.95
松六分板			13.49	13.49	15.87	15.87	15.87	81.95
松丸太					15.87	15.87	15.87	
松四分板					15.87	15.87	15.87	
樅尺ノ二間					12.60	12.60	12.60	
樺尺ノ二間					2.26	2.26	2.26	
屋根板					6.14	6.14	6.14	
竹								1.58
林産物一薪炭								
薪		32.31	21.92	21.92	63.25	63.25	63.25	107.25
木炭		106.93	72.55	72.55	137.03	137.03	137.03	232.35
水産物								
鯛								20.12
鮪								20.12
生鱈								
塩鱈								184.29
工産物一食料品								
小麦粉								312.86

エイト (つづき)

1930-38	小 売 ウ エ イ ト								
	I				II			III	
1930-38	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32	1930-38
								0.35	
								0.02	
16.32						5.41	1.34	12.72	12.95
11.15						17.22	17.22	34.59	34.59
11.15					29.36	17.22	17.22	34.59	34.59
					29.36	17.22	17.22		
1.66			354.52	347.54	130.66	114.93	114.93	78.49	78.49
0.52									
0.96									
5.15									
5.23									
0.73									
0.03									
846.85									
1216.39									
2.65				88.75	44.04	44.04	44.04	8.56	8.56
11.87								38.38	38.38
12.38								40.00	40.00
23.00					46.03	46.03	46.03	0.46	0.46
16.98					16.02	16.02	16.02	140.36	140.36
42.87									80.38
					7.21	7.21	7.21		
40.42			3.95	3.95	3.21	3.21	3.21	22.03	2.36
40.42					3.21	3.21	3.21	22.03	2.36
					3.21	3.21	3.21		
			3.95	3.95	3.21	3.21	3.21		
40.42									2.36
46.99			5.98	5.98	6.62	6.62	6.62	25.60	2.74
46.99			5.98	5.98	6.62	6.62	6.62	25.60	2.74
46.99					6.62	6.62	6.62		2.74
					6.62	6.62	6.62		
					5.25	5.25	5.25		
					0.94	0.94	0.94		
					2.56	2.56	2.56		
1.36								0.49	0.08
107.25		605.08	592.53	592.53	512.86	512.86	512.86	305.35	305.35
232.35		352.02	344.71	344.71	286.51	286.51	286.51	452.75	452.75
13.41								80.78	53.85
13.41								80.78	53.85
13.41									53.85
184.29								176.46	176.46
312.86								918.43	974.92

付表1 品目別ウ

	卸 売 ウ エ イ ト							
	I				II			III
	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32
味噌		62.29	8.94	8.94	10.36	10.36	10.36	4.57
醬油	502.34	487.57	70.00	70.00	77.08	77.08	77.08	33.98
食塩	759.81	737.47	105.88	105.88	119.26	119.26	119.26	25.26
和白砂糖			23.28	23.28	48.03	48.03	96.07	
和赤砂糖			23.28	23.28	48.03	48.03		
洋白砂糖			23.28	23.28	48.03	48.03	96.07	
洋赤砂糖			23.28	23.28	48.03	48.03		
精製糖								120.90
分密糖								120.90
饅頭			36.87	36.87	40.59	40.59	40.59	35.79
大豆油								
清酒	2763.96	2682.71	385.16	385.16	312.20	312.20	312.20	131.47
ビール								46.80
サイダー								18.41
工産物一被服・繊維品								
モスリン								2.36
セル								8.50
銘仙								
羽二重								469.04
富士絹								
甲斐絹			893.81	893.81	483.61	483.61	483.61	980.83
花色絹			893.81	893.81	483.61	483.61	483.61	
絹袖								
縮緬								3.75
織木綿								
白木綿								35.05
晒木綿			34.57	34.57	13.73	13.73	13.73	4.55
ネル								14.91
洋生金巾			34.57	34.57	13.73	13.73	13.73	25.01
晒金巾			34.57	34.57	13.73	13.73	13.73	25.01
綾木綿								
綿織子								
粗布								
捺染絆								
天津打綿								4.62
紡績綿糸			31.59	31.59	25.11	50.22	50.22	4.62
洋産綿糸			31.59	31.59	25.11			
生糸			1582.67	1582.67	2007.96	2007.96	2007.96	2056.78
大麻			1.31	1.31	1.03	1.03	1.03	
藍玉			28.18	28.18	22.40	22.40	22.40	
工産物一身の回りの品								
靴下								21.16
雨傘								
桐日和駄								81.16
足袋								113.10
工産物一燃料								
石炭						83.90	83.90	
常磐炭								13.74
九州炭								
北海道炭								
コークス								13.74

戦前期甲府における卸売・小売物価指数の推計

(153)

エイト (つづき)

1930-38	小 売 物 価 指 数								
	I				II			III	
	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32	1930-38
4.57		192.01	76.22	76.22	83.01	83.01	83.01	31.17	14.23
33.98	746.56	652.48	259.01	259.01	268.14	268.14	268.14	140.93	105.88
25.26	963.43	842.02	334.25	334.25	353.96	353.96	353.96	63.86	78.72
			26.64	26.64	51.67	51.67	103.34		
			26.64	26.64	51.67	51.67			
			26.64	26.64	51.67	51.67	103.34		
			26.64	26.64	51.67	51.67			
120.90								110.77	376.73
120.90								110.77	376.73
17.89			145.08	145.08	150.19	150.19	150.19	112.78	55.76
17.89									55.76
131.47	2482.80	2169.90	861.37	861.37	656.43	656.43	656.43	679.88	409.68
46.80								49.16	145.84
18.41								433.87	57.36
2.36								48.85	48.85
8.50								68.43	68.43
28.10									272.85
197.92								620.29	209.74
197.92									209.74
827.77			658.81	658.81	333.00	333.00	333.00	264.07	178.58
			658.81	658.81	333.00	333.00	333.00		
198.74									43.36
3.16								92.36	62.46
27.37									143.93
25.87								177.36	121.50
3.36			110.91	110.91	41.13	41.13	41.13	88.13	60.37
11.01								75.57	51.77
6.15			110.91	110.91	41.13	41.13	41.13	57.97	13.24
6.15			110.91	110.91	41.13	41.13	41.13	57.97	13.24
6.15									13.24
6.15									13.24
6.15									13.24
4.62									13.24
4.62			224.41	224.41	166.62	333.25	333.25	44.73	44.73
			224.41	224.41	166.62			44.73	44.73
2056.78			38.20	38.20	27.91	27.91	27.91		
			12.11	12.11	8.99	8.99	8.99		
17.25								65.70	53.53
39.77									123.42
66.17								288.96	205.35
92.22								313.81	286.17
6.87						246.77	246.77	29.97	14.99
6.87									14.99
6.87									14.99
6.87								29.97	14.99

付表1 品目別ウ

	卸 売 ウ エ イ ト							
	I				II			III
	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32
石油			79.08	79.08	104.14	42.32	42.32	71.74
揮発油								
菜種油	577.58	569.54	21.34	21.34	37.20	15.11	15.11	0.71
工産物—肥料								
干鹼			45.87	30.58	62.63	62.63	62.63	
糠搾粕			45.87	30.58	62.63	62.63	62.63	3.42
種粕				30.58	62.63	62.63	62.63	17.52
大豆粕								17.52
硫酸アンモニア								93.23
過磷酸石灰								93.23
智利硝石								
工産物—紙類								
美濃紙			15.02	15.02	18.74	18.74	18.74	
半紙			31.69	31.69	144.84	144.84	144.84	
改良半紙								179.85
ハトロロン紙								
板紙								
印刷料紙								
製紙用バルブ								
工産物—金属類								
和塊鉄			17.02	17.02	23.82	23.82	35.74	
洋塊鉄			17.02	17.02	23.82	23.82		
銅板								20.72
銅線								20.72
鉄板(鋼板)								
鋼条								
釘					23.82	23.82	35.74	20.72
鉛								20.72
亜鉛板								
鍍力板								
工産物—建築材料								
セメント								9.34
煉瓦								9.34
瓦								9.34
工産物—化学								
晒粉								
硫酸								
苛性曹達								15.15
硝酸								
水醋酸								
グリセリン								
パラフィン								
松脂								
白色ベイント								
構寸								15.15
人造藍								15.15
石鹼								25.52
板硝子								0.33
合 計	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000

エイト (つづき)

	小 売 ヲ エ イ ト								
	I				II			III	
1930-38	1973-81	1980-87	1986-95	1894-1901	1899-1907	1905-13	1911-25	1922-32	1930-38
35.87			247.39	247.39	306.29	124.46	124.46	156.45	78.22
35.87									78.22
0.71	738.95	679.67	66.76	66.76	109.40	44.46	44.46	1.54	1.54
			73.33	48.89	94.14	94.14	94.14		
3.42			73.33	48.89	94.14	94.14	94.14	4.48	4.48
17.52				48.89	94.14	94.14	94.14	22.94	22.94
17.52								22.94	22.94
62.15								122.06	81.38
62.15								122.06	81.38
62.15									81.38
			28.49	28.49	33.42	33.42	33.42		
			60.12	60.12	258.33	258.33	258.33		
168.39								279.42	113.85
2.87									41.39
2.87									41.39
2.87									41.39
2.87									41.39
			27.35	27.35	35.98	35.98	53.97		
			27.35	27.35	35.98	35.98			
10.36									13.63
10.36								27.26	13.63
10.36								27.26	13.63
10.36									13.63
10.36					35.98	35.98	53.97	27.26	13.63
10.36									13.63
10.36								27.26	13.63
10.36									13.63
9.34								4.16	4.16
9.34								4.16	4.16
9.34								4.16	4.16
4.13									1.40
4.13									1.40
4.13								5.12	1.40
4.13									1.40
4.13									1.40
4.13									1.40
4.13									1.40
4.13								5.12	1.40
4.13								5.12	1.40
25.52								45.69	45.69
0.33								5.39	5.39
10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000

1934-36=100

付表2 グループ別卸売物価指数と卸売物価総合指数

	卸										工 産 物							卸売 総合
	農 産 物			林 産 物			水産物				物							
	農産物	畜産物	農産総合	材木類	薪炭	林産総合	水産物	食料品	被服・ 繊維品	身の回 りの品	燃料	肥料	紙類	金属類	建築 材料	化学	工業物 総合	
明治6	16.1		22.2					8.2			25.8						24.5	22.9
7	1874	21.0	28.9					8.2			20.2						20.2	23.9
8	1875	19.7	27.2					8.6			21.1						20.3	25.9
9	1876	17.5	24.1					6.8			21.5						22.2	20.3
10	1877	18.3	25.2					7.1			23.3						21.4	23.2
11	1878	23.2	32.0					10.3			25.0						30.1	30.8
12	1879	33.1	45.5					14.1			26.8						40.2	42.7
13	1880	31.4	43.3					14.6			28.6						41.5	42.0
14	1881	50.2	69.2					22.9			46.5						65.7	66.7
15	1882	46.0	63.4					22.4			47.4						64.4	63.1
16	1883	33.2	45.7					18.2			33.2						51.5	47.8
17	1884	27.7	36.1					14.4			25.1						40.4	38.8
18	1885	29.0	39.9					16.3			26.8						45.7	42.0
19	1886	28.6	37.9	58.3				17.2			22.3	11.9					37.9	37.4
20	1887	28.6	40.7	74.1				17.1			22.3	13.5					55.7	46.9
21	1888	25.7	34.1	52.7				17.3			24.7	13.3					48.1	40.1
22	1889	27.3	37.9	65.1				18.5			24.8	20.6					46.1	41.2
23	1890	36.0	47.3	71.3				21.1			24.4	18.2					56.6	50.8
24	1891	38.7	49.7	88.3				22.0			21.5	15.7					54.4	51.1
25	1892	41.4	55.5	88.3				23.1			22.8	15.0					62.5	57.8
26	1893	37.5	49.4	75.0				17.6			21.5	25.0					59.4	53.3
27	1894	35.9	45.9	63.8				17.9			23.4	25.7					47.8	46.4
28	1895	39.4	50.4	79.1				22.8			27.2	24.8					79.5	62.6
29	1896	41.6	54.4	80.5				24.6			27.6	29.0					61.8	57.4
30	1897	53.5	68.6	95.8				30.4			29.6	31.5					74.9	70.9
31	1898	60.9	84.4	102.5				32.6			31.7	35.0					81.1	76.0
32	1899	53.4	73.5	84.3				36.9			38.1	39.1					96.0	83.9
33	1900	53.0	82.3	92.3				38.3			39.1	39.8					91.1	77.6
34	1901	51.9	88.3	135.6				38.0			38.2	37.9					89.8	75.7
35	1902	52.2	96.0	128.9				37.7			37.3	36.0					88.6	76.4

戦前期甲府における卸売・小売物価指数の推計

(157)

36	1903	64.5	128.6	138.9	85.8	57.8	42.9	48.7	38.5	132.6	36.1	28.0	47.4	81.1	95.4	90.1
37	1904	56.4	101.3	144.1	72.2	56.4	41.2	47.0	41.6	115.9	35.9	25.7	51.4	83.8	87.2	78.7
38	1905	57.9	111.5	148.3	76.1	57.5	42.3	48.1	47.9	120.6	34.9	17.9	53.6	83.4	90.8	82.5
39	1906	64.6	106.6	145.2	79.9	65.5	42.7	51.0	52.7	138.7	34.4	20.8	58.6	88.7	103.0	89.6
40	1907	69.8	102.6	159.8	82.9	66.0	52.1	57.7	59.0	139.1	33.7	22.7	61.5	88.7	105.5	92.6
41	1908	67.1	91.2	169.4	77.8	70.2	59.9	64.8	61.4	130.3	38.7	21.5	62.8	88.7	101.6	88.2
42	1909	59.1	87.7	175.6	70.7	78.6	60.5	67.7	60.5	132.8	28.1	29.3	51.7	77.6	101.8	84.2
43	1910	57.3	84.1	163.9	68.2	93.3	65.3	75.8	58.5	125.8	61.8	36.2	42.6	89.0	99.5	82.2
44	1911	66.7	79.5	152.5	74.2	88.4	61.5	71.5	58.7	124.0	55.7	36.1	42.4	79.3	98.0	85.0
大正	1	1912	77.1	86.6	150.2	84.1	65.8	76.5	60.0	127.7	50.6	36.1	51.6	74.9	98.1	91.2
2	1913	82.1	104.9	143.5	92.9	106.4	68.7	82.4	63.5	128.7	58.1	48.1	54.9	88.0	104.8	99.3
3	1914	73.1	95.3	152.4	83.4	73.2	65.5	69.4	58.2	122.1	54.5	58.0	52.4	90.7	100.3	91.4
4	1915	57.1	89.7	156.8	69.6	77.1	63.6	69.4	58.6	128.6	53.4	68.7	52.2	150.5	106.4	85.3
5	1916	78.3	143.9	151.6	100.8	80.3	82.2	83.4	64.2	168.8	67.7	81.3	64.5	236.8	135.3	115.8
6	1917	100.6	149.5	171.7	119.6	102.0	106.2	107.2	74.0	199.4	96.8	108.3	89.0	281.6	162.9	138.6
7	1918	144.8	136.8	211.1	150.4	142.1	132.4	138.5	87.1	203.9	145.7	162.7	122.1	356.3	182.5	165.9
8	1919	181.2	256.4	319.3	211.9	194.0	177.9	187.1	131.4	301.5	159.0	185.5	139.0	337.0	253.7	232.1
9	1920	137.3	183.1	404.9	158.5	227.1	211.1	221.0	150.8	293.2	168.8	220.2	138.3	215.0	256.7	202.3
10	1921	120.5	152.5	357.4	136.9	237.1	208.7	222.5	154.3	219.7	154.3	219.7	129.4	147.8	227.7	176.4
11	1922	135.0	215.2	327.9	164.6	246.2	226.0	235.5	82.2	122.3	181.2	158.0	130.6	130.4	158.0	222.5
12	1923	144.3	395.1	285.9	225.8	279.2	225.8	251.2	94.6	125.0	162.5	167.2	150.7	155.9	163.7	166.0
13	1924	172.2	204.0	311.9	185.0	266.7	234.7	249.9	105.5	123.8	152.5	153.4	161.3	146.6	130.8	134.9
14	1925	179.0	420.2	305.6	259.7	240.1	218.2	228.6	116.3	130.7	155.3	144.4	163.5	125.6	126.8	147.2
昭和	1	1926	155.6	215.5	272.5	177.1	208.8	206.0	79.0	120.6	145.3	129.3	145.1	120.4	108.3	144.4
2	1927	133.6	161.6	256.3	144.9	191.6	198.7	195.3	89.7	118.2	131.5	123.3	130.7	115.1	100.2	100.4
3	1928	122.4	170.5	242.8	140.2	201.6	193.3	197.2	98.2	112.6	104.8	116.9	127.1	115.1	105.2	109.2
4	1929	130.7	183.0	219.1	149.3	176.3	177.6	177.0	58.6	108.1	177.0	105.9	120.3	114.1	109.3	107.8
5	1930	85.2	76.1	125.9	83.0	104.4	132.5	119.1	54.7	93.4	116.4	89.4	176.6	98.7	96.4	108.2
6	1931	71.3	73.9	105.7	72.8	87.8	104.4	96.5	55.0	81.7	97.1	75.6	105.3	78.4	69.3	90.3
7	1932	74.9	84.5	92.8	78.3	83.6	85.3	84.5	65.6	93.8	105.0	75.1	100.8	95.0	84.9	81.4
8	1933	92.0	141.1	91.4	107.9	105.7	90.2	97.6	96.6	103.1	94.7	106.8	99.0	102.2	99.3	105.5
9	1934	84.6	61.4	92.5	77.2	102.4	100.0	101.2	97.9	95.8	99.1	96.1	99.0	100.8	102.5	101.4
10	1935	102.5	109.9	91.6	104.7	95.5	100.0	97.9	97.6	101.2	97.5	98.5	104.7	99.0	100.6	100.4
11	1936	112.8	128.7	115.8	118.0	102.0	100.0	100.9	97.6	106.6	114.4	102.5	99.2	102.0	101.7	98.5
12	1937	116.4	135.8	111.8	122.6	147.1	122.2	134.0	96.3	115.9	115.7	142.5	121.8	156.4	181.8	97.8
13	1938	117.6	117.3	136.8	117.8	183.5	166.5	174.6	135.8	124.5	115.6	152.7	142.3	182.7	168.6	120.4
																124.6



付表3 グループ別小売物価指数と小売物価総合指数

1934=100

	小 売											小売 総合				
	農 産 物			林 産 物			工 業 産 物				物 産 物					
	農産物	畜産物	農産 総合	木材類	薪炭	林産 総合	水産物	食料品	繊維品	被服・ 身の回 りの品	燃料		紙類	金属類	建築 材料	化学
明治6	12.4		13.7					8.5		25.8					15.8	14.8
7	1874	16.6	18.3					8.4		20.2					15.1	17.0
8	1875	15.6	17.2					8.8		21.1					15.9	16.7
9	1876	13.8	15.2					7.1		21.5					13.2	14.4
10	1877	14.5	16.0					7.7		23.3					14.2	15.4
11	1878	19.0	21.0					10.9		25.0					19.4	20.4
12	1879	25.8	28.5					14.5		26.8					26.6	27.6
13	1880	24.6	27.2		33.1	35.2		15.2		28.6					40.4	41.8
14	1881	39.3	43.4		38.0	40.4		22.9		47.4					39.9	39.0
15	1882	34.2	37.8		38.0	40.4		22.4		46.5					31.0	29.5
16	1883	24.8	27.4		30.7	32.6		17.8		33.2					24.4	23.3
17	1884	18.7	20.6		30.7	32.6		14.1		25.1					27.8	25.2
18	1885	20.7	22.8		22.1	23.5		16.2		26.8			30.3		27.5	25.6
19	1886	22.2	24.6		28.2	19.6	20.9	16.7	59.7	22.3			53.3		28.6	25.8
20	1887	20.6	22.7		29.2	24.3	25.8	17.0	63.9	22.3			55.1		27.1	25.2
21	1888	20.5	22.6		34.8	24.5	26.1	17.1	55.1	24.7			62.1		27.4	26.2
22	1889	21.7	24.0		32.3	26.2	27.9	18.2	50.2	24.8			52.7		32.2	30.6
23	1890	27.2	30.0		32.5	22.6	24.1	21.4	63.1	24.4			61.4		32.5	32.8
24	1891	31.2	34.5		35.2	24.5	24.4	22.7	62.0	21.5			70.0		34.9	34.3
25	1892	31.7	35.0		35.2	24.5	26.2	23.6	69.9	22.8			69.7		30.2	30.7
26	1893	29.6	32.7		52.0	22.9	24.7	16.8	62.0	21.5			61.3		30.2	31.2
27	1894	29.6	32.6		48.4	25.8	27.7	17.2	64.8	23.4			57.1		38.2	35.1
28	1895	29.2	32.2		60.3	28.9	31.1	23.0	81.2	27.2			77.7		36.0	38.0
29	1896	35.3	38.9		65.3	38.0	40.7	24.9	64.6	27.6			69.6		44.7	46.6
30	1897	43.9	96.7		48.4	77.0	41.7	31.2	82.8	29.6			77.2		44.3	48.0
31	1898	48.4	103.4		53.3	91.3	36.9	33.5	72.2	31.7			83.9		49.6	48.3
32	1899	41.0	165.4		45.8	94.1	47.5	38.8	82.9	38.1			87.9		51.3	50.4
33	1900	43.7	143.9		48.4	101.2	47.5	38.4	81.1	39.8			85.6		50.6	48.3
34	1901	42.8	142.5		47.5	94.0	43.8	38.1	79.4	38.2			83.4		49.9	48.1
35	1902	41.8	141.1		46.3	86.7	40.1	38.5	80.6	37.3			44.5			

戦前期甲府における卸売・小売物価指数の推計

(159)

36	1903	50.7	147.6	56.0	76.2	44.3	47.0	40.6	78.1	36.1	28.0	44.7	81.1	49.2	52.9
37	1904	45.8	149.7	50.8	74.4	41.6	44.3	47.6	88.4	35.9	25.7	48.4	83.8	49.9	50.4
38	1905	47.1	151.3	52.1	75.9	43.9	46.6	52.3	106.4	34.9	17.9	50.5	83.4	54.4	53.2
39	1906	58.6	150.1	64.6	86.4	44.2	47.3	58.9	113.8	34.4	20.8	55.2	88.7	61.1	62.3
40	1907	64.4	155.9	70.9	87.1	53.4	56.5	61.1	113.2	33.7	22.7	57.9	88.7	66.2	68.4
41	1908	61.5	164.7	67.8	92.6	56.8	60.1	59.7	109.8	38.7	21.5	59.2	88.7	67.8	67.9
42	1909	52.3	167.7	57.9	103.7	58.0	61.7	57.3	99.9	28.1	29.3	48.7	77.6	64.7	61.8
43	1910	55.5	166.2	61.4	123.1	66.2	72.6	57.4	100.4	61.8	36.2	40.1	89.0	65.8	64.9
44	1911	65.8	154.0	72.4	116.6	63.6	67.7	58.2	100.9	55.7	36.1	39.9	79.3	65.0	69.5
大正1	1912	78.4	144.7	85.9	124.7	72.6	77.1	61.5	92.2	50.6	36.1	48.6	74.9	65.8	77.5
2	1913	79.1	144.7	86.6	140.4	72.5	77.6	57.1	94.2	58.1	48.1	51.7	88.0	69.8	79.6
3	1914	69.4	141.5	66.4	96.5	73.3	76.7	56.5	159.6	54.5	58.0	49.4	90.7	67.7	68.6
4	1915	50.8	144.3	56.1	101.7	71.4	75.0	60.4	178.1	53.4	68.7	49.2	150.5	82.3	69.5
5	1916	57.5	142.2	63.3	105.9	84.9	88.6	69.1	234.3	67.7	81.3	60.8	236.8	94.4	79.4
6	1917	83.0	162.4	90.9	134.6	109.6	114.3	83.7	215.8	96.8	108.3	83.9	281.6	120.0	106.4
7	1918	118.1	199.6	129.1	187.5	138.9	145.5	122.0	280.5	145.7	162.7	115.0	356.3	142.0	137.5
8	1919	161.4	285.4	176.5	255.9	209.0	218.0	144.8	276.4	168.8	220.2	130.3	337.0	178.9	183.1
9	1920	130.6	380.4	144.3	299.5	253.0	263.5	135.1	241.4	154.3	219.7	121.9	147.8	192.2	176.8
10	1921	116.1	349.7	128.4	312.7	222.3	233.3	132.4	205.5	154.3	219.7	121.9	147.8	176.5	159.5
11	1922	117.4	308.6	132.6	324.8	234.7	244.8	91.8	216.6	179.4	158.0	153.0	130.4	160.5	157.4
12	1923	127.0	278.6	139.0	368.3	235.6	250.5	110.2	237.7	160.7	141.6	167.2	142.0	163.7	161.8
13	1924	146.0	280.9	158.6	351.9	244.0	256.1	120.7	240.6	149.7	153.4	161.3	130.8	134.9	158.6
14	1925	150.7	272.9	160.4	316.7	226.5	236.6	131.3	227.7	152.3	144.4	163.5	118.3	126.8	167.8
昭和1	1926	138.9	266.3	149.0	275.5	213.0	220.0	97.9	123.1	189.7	144.1	145.1	113.4	147.8	167.5
2	1927	141.2	258.5	150.5	252.7	205.2	210.5	102.3	118.8	185.2	131.7	130.7	108.5	114.4	150.8
3	1928	121.1	245.2	131.0	266.0	199.1	206.6	104.9	116.6	170.7	102.1	108.5	105.2	109.2	130.0
4	1929	111.7	226.7	120.9	232.5	183.2	188.8	69.7	109.4	162.3	103.3	119.8	127.3	130.1	136.0
5	1930	91.0	137.0	94.7	153.1	136.8	138.6	66.5	97.2	112.1	88.1	107.5	109.3	124.4	127.0
6	1931	68.8	99.0	71.2	118.1	106.6	107.9	64.3	83.7	117.6	98.7	89.6	84.7	131.8	101.1
7	1932	76.3	84.8	77.0	94.0	86.6	87.4	81.0	93.8	105.3	78.4	79.6	69.3	90.3	86.8
8	1933	78.6	95.7	80.0	117.8	90.9	93.9	90.8	98.8	74.7	100.8	84.0	81.4	91.2	92.8
9	1934	92.0	96.5	92.3	106.3	100.0	100.7	95.6	101.2	106.8	99.0	95.4	102.2	104.8	97.8
10	1935	101.5	95.4	101.0	89.0	100.0	98.8	96.3	98.4	99.1	96.1	98.4	100.8	100.5	97.3
11	1936	106.5	108.1	106.7	104.7	100.0	98.8	103.7	97.2	98.5	104.7	98.4	98.4	99.0	99.2
12	1937	115.1	108.3	114.6	130.6	122.2	123.2	101.4	111.8	106.2	102.4	99.2	103.3	98.5	104.7
13	1938	122.1	122.8	122.2	149.7	163.7	162.1	130.6	135.7	121.8	112.4	142.3	181.8	97.8	115.9
										142.3	128.7	150.5	220.0	102.3	108.8
															133.5

- 18) 家賃を除いた、固定ウェイトの指数を使用。原指数は1985-87=100の指数だが、比較のため、本稿で推計した甲府の卸売物価指数(1934-36=100)の1911年の指数85と一致するよう、1911=85基準の指数に変換した。
- 19) 原指数は1884=100の指数だが、比較のため、東京の有田・中村指数(1934-36=100)の1913年の指数79と一致するよう、1913=79基準の指数に変換した。
- 20) 県外からの移入物の価格の低下については、加藤[1997]を参照のこと。

[引用文献]

- 有田富美子・中村隆英「東京における卸売物価の一推計—1830-1936—」(『東洋英和女学院大学人文・社会科学論集・第5号』)[1992]
- 岩橋勝「明治期一他方都市の物価と賃金, 1880-1913」(『松山大学論集』第4巻3号)[1992]
- 梅村又次ほか編『長期経済統計13・地域経済統計』(東洋経済新報社)[1983]
- 大川一司ほか編『長期経済統計8・物価』(東洋経済新報社)[1967]
- 尾高煌之助「戦前期大阪地方消費者物価指数の推計(1903-39)」(『一橋論叢』第67巻3号)[1972]
- 加藤要一「鉄道敷設における地元の『認識』と『実際』——明治期山梨県における馬車鉄道を事例に——」(『社会経済史学』第63巻3号)[1997]
- 斎藤修「大阪卸売物価指数1757-1915」(『三田学会雑誌』第68巻10号)[1975]
- 中村隆英ほか『経済統計入門』(東京大学出版会)[1983]
- 農林大臣官房統計課『明治二年以降農林省統計関係法規輯覧』[1932]
- 細谷新治『明治前期日本経済統計解題書誌・富国強兵編上の1』(統計シリーズNo.4, 一橋大学経済研究所・日本経済統計文献センター)[1976]
- 松田芳郎『データの理論』(岩波書店)[1978]
- 松田芳郎編『明治期府県の総括統計書解題』(一橋大学経済研究所・日本経済統計文献センター)[1980]
- 森田優三『経済統計読本』(東洋経済新報社)[1970]
- Tussing, A., "The Labor Force in Meiji Economic Growth: A Quantitative Study Yamanashi Prefecture," *Journal of Economic History*, Vol. XXVI, No. 1 (March 1966)
- (付記) 本稿は平成7年度, 8年度文部省科学研究費補助金(特別研究員奨励費)「鉄道の開通と地域経済—山梨県を例に」による研究成果の一部である。
- (一橋大学大学院博士課程・日本学術振興会特別研究員)